

2012年1月27日

岡山県知事 石井 正弘 様

岡山県平和委員会 会長 大西 幸一
岡山市北区春日町4-26
電話 (086) 224-3787

日米共同方面隊指揮所演習の中止を求める申し入れ

日頃から県民の安全と生活向上に努力されていることに対し、敬意を表します。

さて、1月24日から2月6日まで、兵庫県伊丹市の陸上自衛隊中部方面隊伊丹駐屯地において、米太平洋陸軍司令部、在日米陸軍司令部、第8軍(韓国)、米海兵隊等から約1,500名と陸上自衛隊中部方面隊等から約4,500名が参加し、オーストラリア陸軍がオブザーバー参加する「平成23年度日米共同方面隊指揮所演習(日本)」(ヤマサクラ61:YS61)が行われています。

この指揮所演習は、事実上中国の支援を受けた北朝鮮が、韓国と同時に米子と金沢に侵攻して京都や大阪を占領しようとするのを日米共同の部隊で撃破することを想定した大規模なコンピュータシステムを使用した戦争ゲームですが、私たち岡山県民が生活している津山盆地や岡山平野と播州平野などが戦場として想定されているとの情報があります。

日本国憲法で禁止されている軍隊が外国軍と共同で私たちの生活する郷土を勝手に戦場に想定して訓練をするなどということは断じて許されません。1月22日には伊丹市で大規模な日米共同訓練反対集会が開かれました。

また、指揮所演習の次には実動演習が予想され、日本原演習場での日米共同訓練や「戦場」に想定された津山盆地や岡山平野での航空機による爆撃や物資投下を想定した訓練が予想されると同時に、県民の生活空間で武装した自衛隊や米軍が「部隊移動」や「掃討作戦」を想定した訓練を行う可能性があります。また、この戦争シナリオに基いて国機関や自治体を巻き込んだ「武力攻撃事態」対処訓練や「国民保護」訓練が行われる可能性もあります。

私たちは、仮想敵国を想定した軍事訓練ではなく、戦争を回避するために積極的な平和外交で友好・交流を推し進め、軍事費を削って国民生活に予算を回すよう各方面に働きかけています。沖縄県の例を見れば「外交、防衛は国の専管事項」という立場では県民の安全を守れないことは明らかです。

貴職がこの危険な日米共同指揮所演習に反対する態度を表明し、日米両政府に対して危険な日米共同訓練をただちに中止するよう強く働きかけるよう、下記のとおり申し入れるものです。

記

1. 岡山県民の生活の場を戦場に想定しているとされている平成23年度日米共同方面隊指揮所演習(ヤマサクラ61:YS61)に対して、岡山県として反対の態度を表明し、日米両政府に対して演習の中止を求めること。

以上